

「ペット用ドライサラダ」の可愛らしく判りやすいパッケージデザインが完成

信州わんにゃん食工房（長野県）

小諸市周辺および県内で採れた野菜・果実（レタス、キャベツ、リンゴ等）で、市場で流通できない規格外の農産物を使った、安心・安全なペット用補助食品を製造・販売する事業者。

1. 相談のきっかけ

○企業の思いを形にして、企業ロゴや統一されたパッケージデザインを考え、ひいては企業イメージや商品訴求効果を高めたいと事業者はかねてから考え、長野県地域資源製品開発支援センター（以降、センター）に相談。

○しかし、デザインの企画段階からの支援であれば当拠点のほうが効果的に行えらると同センターから当拠点を紹介され相談に至った。

2. 課題整理・分析

○市場環境として、家族の一員となったペットの健康やダイエットに意識をもった飼主が、安全・安心な国内産ペットフードに関心を集めていることを確認。

○事業者の相談にあったとおり、販路拡大を図るためには、当社のパッケージデザインを刷新し、地域産品を活用し安全で美味しいという商品イメージを統一して訴求して企業・商品の知名度を上げることが有効と判断。

○ただし、課題がデザイン企画から販路確保までシームレスに支援する必要性があったため、専門家や紹介元のセンターと連携した支援の必要性を認識。

3. 解決策の提案

○専門家派遣制度を活用してデザイナーから助言を受けながら、パッケージや商品紹介チラシのデザイン固めを行うことを提案。拠点は専門家と連携しながら、顧客に訴求するコンセプトを以下のとおり提案。

- ①信州の野菜・果実であること「おいしさ」
- ②添加物を一切含まないこと「安心・安全」
- ③通常のペットフーズに加えるだけの「簡便さ」
- ④ペットを大事に思う飼い主のための「判りやすい」パッケージ

○また、拠点からセンターに対しては、商品のパブリシティ・販路拡大の支援を依頼。

4. 成果

○商品の材料をイメージした彩色を考慮し、ペットを形どったラベルの形状を商品に添付することでシリーズの統一感が深まった。さらに、おいしい表情のペットをイメージしたロゴマークも形になり、商品コンセプトを織り込んだ販促用パンフレットも完成した。

○またデザイナーの提案により、ペット用の「ドライサラダ」「ふりかけ」についてそれぞれの商品のパッケージラベルが完成した。

○センターの協力を得ながら、平成27年8月初めに、マスコミ向けに商品発表会を開催。テレビ・新聞で報道されるに至り、企業及び商品の認知度向上につながった。今後さらなる販路拡大が期待される。

【相談者の声】

今回の支援を受け、県庁での記者会見発表も行うことができ、新聞記事・テレビ等のメディアに多数取り上げて頂いたのが、徐々に反響が出はじめています。ひとえに支援体制が充実しての成果だと感謝しています。ありがとうございました。

（信州わんにゃん食工房店主 重岡克哉様 談）

